

■市民・有識者アンケート 自由記述の整理

市民・有識者アンケートにおける自由記述について、「ひと」、「住まい」、「まち」の項目別に整理を行いました。

	「ひと」	「住まい」	「まち」
市民アンケート	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共働きの家庭が子供を預けやすく、保育園等に入りやすくしていただきたいです。会社に働きに行くのも不安になります。復帰が遠のくのでお願いします。 ●子育て世代へのマイホーム購入補助を支援して頂きたい。アンケートのデジタル化、マイナンバー（もしくは市独自の政策）の紐づけなどでポイント化などから、補助が受けれる等のメリットの顕在化。 ●子育て世代が特に多く、保育園など入りたくても入れない、待機児童の方が多いと思います。少しでも待機児童の数が減る様な政策、また将来の子供の為になる様な政策や補助が出ると、もっと守山市は良くなると思います。 <p>【高齢化・福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ずっと守山市に住んでいる者として、高齢者が住みやすい、同居がしやすい支援があればと思います。子世帯が別居が多く、他の市町村に転居されており、これからの守山市を考えると、心配になります。何か施策が必要だと思います ●高齢者への見守り等に力を入れて欲しい。 ●守山市は高齢者にはまだまだ行き届いていないと感じます。（窓口対応など）。以前住んでいた野洲市役所は、ユーザビリティにあふれていました。住居に若い方も多いため、まだまだこれからだと思いますが、今高齢者行政に取り組むことが、今後の守山市行政の発展につながると思います。 ●入居が必要になった時、すぐに入居できる有料老人ホームを充実させてほしい。 ●心配なのは今後80代になり、介護が必要なとき、本人がどういったサービスが受けられるか、その窓口などの情報が届くシステムがないことです。 	<p>【空き家問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私どももそうですが、夫婦二人住まいだと将来的には空き家になってしまう可能性が強く感じられもったいない気持ちになります。二人息子のうち、一人は守山市内に嫁と住んでいるので近い将来に自宅に住んでくれたらと考えています。ただ、この地区は駅（守山）から少々遠いので京都に勤めている息子には不便であることは否めないです。 ●現在の居住地に住み続けたいが、周辺が空家状態の所が出てきたり、将来的になりつつあることから、安全面や防犯面で気になる。 <p>【住宅の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の住居（集合型、マンション）の耐震性度合の現状の把握が課題である。 ●守山市には古民家が多く、若者が住宅取得するのに、古民家活用する住宅政策もあっていいと思います。空き家対策にもなるのではないのでしょうか？ <p>【公営住宅の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在市営住宅に住んでいます。家賃面では大変助かっておりありがたく思っています。しかし築年数は40年を超え、老朽化や耐震対策など不安な面もかなり多いです。間取りや収納、設備等も現代の生活スタイルとは乖離しており、不便を感じています。市内の他の市営住宅に於いても老朽化が進んでいる印象です。修繕はしていただいたりもしていますが、その場しのぎで根本的な改善には至っていないと思います。老朽化の進んできた住宅について建て替えなども是非ご検討いただきたいです。 ●子供たちも県外に住んでいるので低所得高齢者向けの公営団地（介護付）特養のような施設を増やしていただくよう検討してほしい。年金だけでは民間の家賃負担は重すぎます 	<p>【住環境・開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●琵琶湖のほとりに住めて幸せです。この寒い時期は、散歩もひかえておりますが、町中と違っていくつもの散歩コースが選べるので、毎日心良く生活しております。 ●大阪、神戸へのアクセスも良く、とても利便性が高いと思います。これからもっと駅前にマンションが建つと思いますが、人が増えて市が潤うのは大賛成です。ただ、豊かな自然は守っていききたいと思います。 ●新しい宅地が出来ている中、車を使わずに通勤や生活ができる公共交通の整備や自然エネルギーの活用に対する長期的な施策により、自然との共生を重視した街造りが望まれる。 ●守山市は都会すぎず、田舎すぎず災害も少なく住むにはとても良い所だと思っています。 ●市街地ばかりに優先して事業が行われているように思います。「のどかな田園都市」を基本理念にされながら、農地を住宅地に転用できず、高齢化が進み、若い人たちは市街地に居住し続けています。多くの農地がある中洲学区に人々が居住しやすい環境を整えていただきたい。 ●地区計画の取り組みによる開発は、地域の活性化になっていると思います。 ●自然環境を大切にしたい田園都市構想に基づく住宅や住環境が必要だと考える。過度な住宅増は「守山市」には不要。 ●夜中の病院への交通手段がないため整備してほしいです。以前、救急車を呼んだのですが、「この程度なら、自らタクシーを呼んで病院へ行ってください」と言われた。自家用車を所有していないため、タクシーサービスがないと、夜間緊急時に病院へ行けません。 ●郊外の居住者です。現状は特に不満はありませんが、自家用車がないと生活に支障をきたします。通院に限りタクシーの費用は無料になるなど、検討していただけたらと思います。 <p>【地域コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会が無くては運営できるようにしてほしい。（自治会への参加が苦痛） ●自治会活動は市外からの入居者が増え、核家族化し従来の横並びの参加は難しい。希望者のみでの活動もしくは、費用負担のみでの参加を検討願いたい。 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北部のびわこ周辺住宅では災害の可能性が大であります。特に広域避難場所が北部は少なく、また遠いので、もっと新しい住宅をミニ開発させず、災害の避難場所を考慮して早急に対応してもらいたい。
有識者アンケート	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まだまだ待機児童がいたり、民間の保育を利用するのに生活苦におちいる方もおられるかと思うので、認可保育園の公募の増加、安心安全に住める守山市になってほしいです。 ●「妊産婦から切れ目のない子育て支援」事業の中にも住環境についても盛り込まれてはどうか。子育て中の世帯員が安全安心に集まれる屋内外の機会の提供やすこやかセンターをはじめ学区会館等親子がおむつや・着替えなどの荷物を持ったままゆったり入れる使えるトイレの設備点検と増設をお願いしたい。 <p>【高齢化・福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●速野学区では今後も独居の高齢者や75歳以上のみの世帯（高齢者世帯）の増加が見込まれる。移動の手段が無い買い物弱者（買い物難民）や受診のしづらさ。家屋の修繕、ゴミ出し、庭木の剪定など日常生活の複合的な生活課題が見られ支援が必要である。 ●生活困窮者について「住居確保給付金支給」制度活用の拡大充実強化がなされる事を望む。 ●障がい者のグループホームが不足しています。公営住宅の転用、空き家の活用、社会福祉法人への支援、地域の理解啓発に力を入れていただきたい。 	<p>【空き家問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空家となっている数が絶えず有るが困窮者がどうして借入れ出来ないのか疑問今後北部地域には市営住宅の建設予定は無いのでしょうか。 ●高齢化により空家がふえ対応に懸念しています。周辺の住民の理解、問題解決の話し合いの場を持つこと、行政との連携が必要だと思います。 ●子育て支援や高令者支援にもつながりますが、市内への移住者が増えることにより、待機児童の減少、学童保育所の増数など、空屋利用を積極的に進めてほしい。 <p>【公営住宅の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市営住宅の改装改装が急がれる様に思います(老朽化)。改築にあたっては、緊急時避難場所として活用出来る建築物であればと思います。 ●生活の困窮度を踏まえた市営住宅への入居を優先的に認めてもらえる制度を作って頂きたい。 	<p>【住環境・開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整区域の見直し（市街化促進） ●過疎化の進んでいる地域と、マンモス化（過密）化地域の差が激しく感じられます。 ●守山市は調整区域における地区計画も積極的に取り組まれており地域発展及び良好な住宅環境にあると思います。 <p>【地域交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特に高令者のあらゆる移動手段として、もーりーカー、公共交通の路線を増やしてほしい。 <p>【地域コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住人に皆で住むところを良くし、よい環境をつくっていきこうという意識が育たず孤立していくように思える。是非、購入条件に自治会入会を入れて欲しい。 ●組費や町費が高い。なのに毎年消化されず貯蓄されている状態。普通余れば返金します。子そだて世代には年1万超え、これが数十年続くのは辛いです。（総額何十万と行きます）自治会の事情を知らず引っこしてきたのは失敗だったかと思いました。 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今後、異常気象から野洲川氾濫等での水害の場合、避難場所が近隣にない自治会が多い。住民が安心して暮らせる施策が望まれる。 <p>【新しい生活様式への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人と接しない荷物の受け渡しなどの工夫も大切であるが、一人暮らしや、高齢者のみの世帯（者）の異常の早期発見システムの構築が必至である。